

NY マーケットレポート (2015年8月25日)

NY 市場では、東京や欧州タイムで堅調な動きとなった反動から、ドル円・クロス円は序盤からやや軟調な動きとなった。ドルは、序盤に発表された米新築住宅販売件数が前回から改善したことや、米消費者信頼感指数が予想を上回り、今年1月以来の高水準となったこと、また米株価が大きく上昇したものの、やや上値は限定的となった。一方、ECB 副総裁が、インフレ見通しに対するリスクがあれば ECB は追加措置を取ると言明したことを受けて、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きとなった。そして、終盤には、ダウ平均株価が高値から650ドル以上下落するなど、主要株価が軒並み大きく下落したことから、リスク回避の動きも強まり、ドル円・クロス円は大きく下落する動きとなった。

2015/8/25 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.73	120.11	118.26
EUR/JPY	138.05	138.61	137.11
GBP/JPY	188.94	189.27	186.32
AUD/JPY	86.29	86.84	84.48
EUR/USD	1.1529	1.1623	1.1525

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.40	119.42
EUR/JPY	138.38	137.68
GBP/JPY	190.00	188.51
AUD/JPY	87.16	85.71
EUR/USD	1.1564	1.1456

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17806.70	-733.98
ハンセン指数	21404.96	+153.39
上海総合	2964.97	-244.94
韓国総合指数	1846.63	+16.82
豪ASX200	5137.25	+135.97
インドSENSEX指数	26032.38	+290.82
シンガポールST指数	2886.29	+42.90

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6081.34	+182.47
仏CAC40	4564.86	+181.40
独DAX	10128.12	+479.62
ST欧州600	356.29	+14.28
西IBX35指数	10115.40	+358.80
伊FTSE MIB指数	21649.69	+1199.26
南ア 全株指数	48980.84	+1349.65

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.75	120.10	118.74
EUR/JPY	136.78	138.13	136.48
GBP/JPY	186.43	189.63	186.37
AUD/JPY	84.68	86.76	84.65
NZD/JPY	76.99	78.52	76.96
EUR/USD	1.1520	1.1526	1.1398
AUD/USD	0.7133	0.7229	0.7123

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15666.44	-204.91
S&P500	1867.62	-25.59
NASDAQ	4506.49	-19.76
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	13150.93	+98.19
🇧🇷 ボルサ指数	42010.89	+539.42
🇧🇷 ボベスパ指数	44544.86	+208.38

8/26 経済指標スケジュール

08:50	【日】7月企業向けサービス価格指数
14:00	【日】8月中小企業景況判断
14:00	【シンガポール】7月鉱工業生産
15:00	【スイス】7月UBS消費指数
16:30	【スウェーデン】7月貿易収支
17:30	【英】7月BBA住宅ローン承認件数
17:30	【英】8月CBI流通取引調査
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
21:30	【米】7月耐久財受注

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1138.30	-15.30
NY 原油	39.31	+1.07
CME コーン	377.00	-3.50
CBOT 大豆	877.75	+3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.63%	0.58%
3年債	0.97%	0.90%
5年債	1.47%	1.38%
7年債	1.86%	1.75%
10年債	2.13%	2.01%
30年債	2.85%	2.73%

8/26 主要会議・講演・その他予定

- ・米5年債入札
- ・NY連銀総裁 会見

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 120.09 ユーロ/円 138.12 ユーロ/ドル 1.1503

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6099.85	+200.98	ダウ 先物ミニ	16319	+600
仏 CAC40	4583.12	+199.66	S&P 500 ミニ	1945.25	+74.00
独 DAX	10075.90	+427.47	NASDAQ 100 ミニ	4180.50	+177.25

(出所: SBILM)

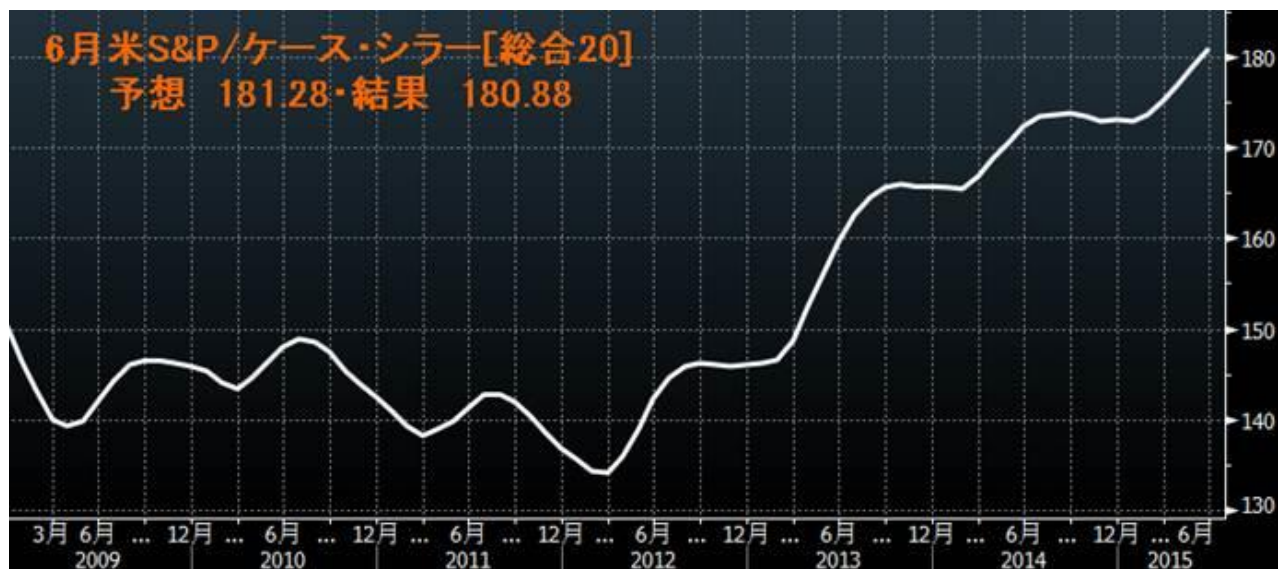
22:00

< 経済指標の結果 >

6月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 180.88 (予想 181.28・前回 179.03)

6月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) -0.12% (予想 0.20%・前回 -0.18%)

6月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 4.97% (予想 5.10%・前回 4.94%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《S&P/ケース・シラー住宅価格指数》

(米主要 20 都市) 季調前

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
指数	180.88	179.13	177.10	175.06	173.51	172.69
前月比	0.98	1.15	1.17	0.89	0.47	-0.11
前年比	4.97	4.99	4.97	4.95	4.93	4.41

(米主要 10 都市) 季調前

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
指数	195.89	194.09	191.91	189.82	188.40	187.45
前月比	0.93	1.14	1.10	0.75	0.51	-0.11
前年比	4.64	4.73	4.67	4.62	4.69	4.17

22:00

《 経済指標の結果 》

6月米住宅価格指数(前月比) 0.2% (予想 0.4%・前回 0.4%)

2Q米住宅価格指数(前期比) 1.2% (予想 1.2・前回 1.3%)

22:02

《 要人発言 》

人民銀当局者

- ・「中国の金利と預金準備率の同時引き下げは、穏健な金融政策の実施改善を支援」
- ・「最近の元の動向は、金融システムの流動性水準に影響」

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16193.51	+322.16
ナスダック	4672.41	+146.16

(出所: SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

8月マークイット米国サービス業 PMI 55.2 (予想 55.1・前回 55.7)



(出所: ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米消費者信頼感指数 101.1 (予想 93.4・前回 91.0)

前回発表の90.9から91.0に修正



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《消費者信頼感指数》

8月・7月・・・6月・・・5月・・・4月・・・3月

信頼感指数・・・101.5・・・90.9・・・99.8・・・94.6・・・94.3・・・101.4

現況指数・・・115.1・・・104.0・・・110.3・・・107.1・・・105.1・・・109.5

期待指数・・・92.5・・・82.3・・・92.8・・・86.2・・・87.1・・・96.0

【現況指数】

業況

良好・・・23.2・・・23.4・・・26.1・・・24.7・・・25.5・・・26.7

悪化・・・17.6・・・18.2・・・18.0・・・17.9・・・19.2・・・19.4

普通・・・59.2・・・58.4・・・55.9・・・57.4・・・55.3・・・53.9

【雇用】

十分・・・21.9・・・19.9・・・21.3・・・20.6・・・19.0・・・21.0

不十分・・・56.2・・・52.7・・・52.6・・・52.2・・・55.1・・・53.5

困難・・・21.9・・・27.4・・・26.1・・・27.2・・・25.9・・・25.5

【半年先】

業況

改善・・・15.8・・・15.3・・・17.9・・・16.0・・・15.4・・・16.8

悪化・・・8.3・・・10.3・・・10.2・・・11.3・・・9.1・・・8.1

横ばい・・・75.9・・・74.6・・・71.9・・・72.7・・・75.5・・・75.1

雇用

改善・・・14.6・・・13.7・・・17.1・・・14.7・・・13.8・・・15.3

悪化・・・13.6・・・19.0・・・15.2・・・16.6・・・16.4・・・13.6

横ばい・・・71.8・・・67.3・・・67.7・・・68.7・・・69.8・・・71.1

23:00

《経済指標の結果》

7月米新築住宅販売件数 50.7万件 (予想 51.0万件・前回 48.1万件)
 前回発表の48.2万件から48.1万件に修正

7月米新築住宅販売件数(前月比) 5.4% (予想 5.8%・前回 -7.7%)
 前回発表の-6.8%から-7.7%に修正



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新築住宅販売》

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
販売戸数	50.7	48.1	52.1	50.8	48.5	54.5
前月比 (%)	5.4	-7.7	2.6	4.7	-11.0	4.6

(万件)

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
北東部	3.2	2.6	2.5	1.3	2.0	2.6
中西部	5.4	5.8	6.0	6.6	5.8	5.4
南部	29.4	27.8	29.5	31.6	27.2	32.8
西部	12.7	11.9	14.1	12.2	13.5	13.7

(万件)

23 : 00

《 経済指標の結果 》

8月リッチモンド連銀製造業指数 0 (予想 10・前回 13)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《リッチモンド連銀製造業指数》

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
景況指数	0	13	7	1	-3	-8
出荷	-4	16	5	0	-6	-13
新規受注	1	17	10	4	-6	-13
受注残	-15	10	3	-7	-8	-12
雇用者数	1	1	6	5	7	6

23 : 00

《 経済指標の結果 》

2Q メキシコ経常収支 -79.80 億 USD (予想 -84.80 億 USD ・ 前回 -94.46 億 USD)



(出所：ブルームバーグ)

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数では、主要20都市圏の指数は前年同月比+5.0%となり、前月の+4.9%からやや伸び率が拡大した。米FRBが事実上のゼロ金利政策を続ける中で、住宅部門が底堅いことを示した。都市別では、デンバーが+10.2%、サンフランシスコが+9.5%、ダラスが+8.2%と最も大きなプラスとなった。

(2) 8月のマークイット米国サービス業PMI速報値は、55.2と改定値55.7から低下した。新規事業が軟調だったことが全体を押し下げる要因となった。構成指数では、新規事業が54.8(前月57.4)と1月以来の低水準となったが、雇用指数は前月と同等のペースで伸びた。当該指数は、50が景気の拡大と悪化の判断基準となる。製造業とサービス業の指数を加重平均した8月の総合PMI速報値は55.0となり、前月からやや低下した。

(3) 8月の米消費者信頼感指数は、市場予想の93.4を上回る101.5となり、前月確報値の91.0から上昇し、今年1月以来の高水準となった。現況指数は115.1と前月の104.0から上昇し、2007年11月以来の高水準となった。期待指数は92.5と、前月の82.3から上昇した。就職が困難であることを示す指数は21.9と、前月の27.4から低下した。また、1年インフレ期待は4.9%(前月5.1%)だった。

(4) 7月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比+5.4%の50.7万件と、2ヵ月ぶりにプラスとなり、昨年12月以来7ヵ月ぶりの大きな伸び率となった。前年同月比では+25.8%。

①市場で売れ残った住宅在庫は、7月末時点で前月比+1.9%の21.8万件となり、2010年3月以来の高水準となった。また、販売に対する在庫率は5.2ヵ月と前月から0.1ヵ月低下し、適正水準とされる6.0ヵ月を引き続き下回った。

②販売物件の中間価格は、前月比-3.0%の28万5900ドル、前年同月比では+2.0%。平均価格は、前月比+13.1%の36万1600ドル、前年同月比では+4.8%となった。

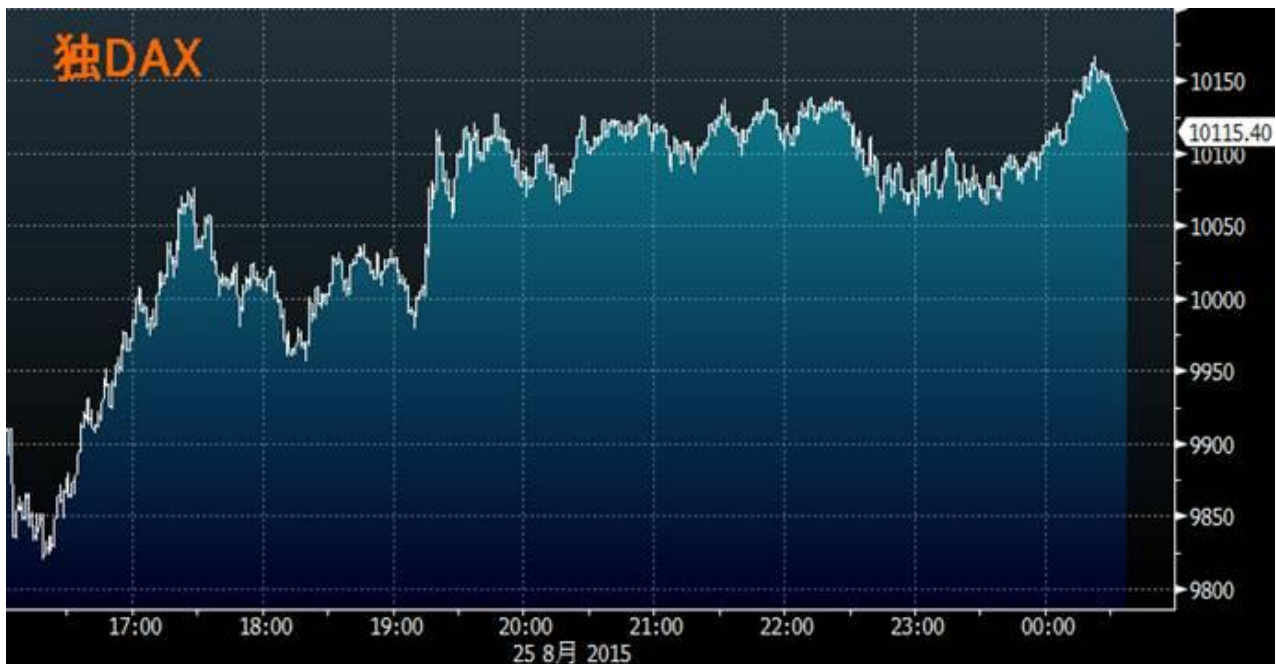
③地域別では、北東部が+23.1%、南部は+5.8%、西部が+6.7%、一方中西部は-6.9%となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6081.34	+182.47
仏 CAC40	4564.86	+181.40
独 DAX	10128.12	+479.69
ストック欧州 600 指数	356.29	+14.28
ユーロファースト 300 指数	1406.72	+57.22
スペイン IBEX35 指数	10115.40	+358.80
イタリア FTSE MIB 指数	21649.69	+1199.26
南ア アフリカ全株指数	48980.84	+1349.65

(出所: SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、大幅下落が続いたことを受けて、序盤から割安感がある銘柄を買う動きが先行した。また、中国の追加利下げの報道を受けて上げ幅が拡大する動きとなり、主要株価は大幅高となった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16205.20 (+333.85)、S&P500 1937.61 (+44.40) ナスダック 4669.06 (+142.81)

≪ NY 債券市場 ・ 午前 ≫

序盤のニューヨーク債券市場は、中国が緊急の追加金融緩和に踏み切ったことで、中国経済への懸念がやや後退し、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。8月の米消費者信頼感指数が市場予想を上回ったほか、7月の米新築住宅販売件数が堅調に増加したことも、売り材料となった。

午前の利回りは、30年債が2.82%（前回2.73%）、10年債が2.08%（2.01%）、7年債が1.81%（1.75%）、5年債が1.43%（1.38%）、3年債が0.94%（0.90%）、2年債が0.61%（0.58%）。

2 : 00

≪米財務省2年債入札≫

最高落札利回り・・・0.663%（前回 0.690%）

最低落札利回り・・・0.530%（前回 0.593%）

最高利回り落札比率・・・30.51%（前回 7.97%）

応札倍率・・・3.16倍（前回 3.42倍）

3 : 40

NY金は、中心限月が前日比15.30ドル安の1オンス=1138.30ドルで取引を終了した。

4 : 10

NY原油は、中心限月が前日比1.07ドル高の1バレル=39.31ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1138.30	-15.30
NY 原油	39.31	+1.07

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

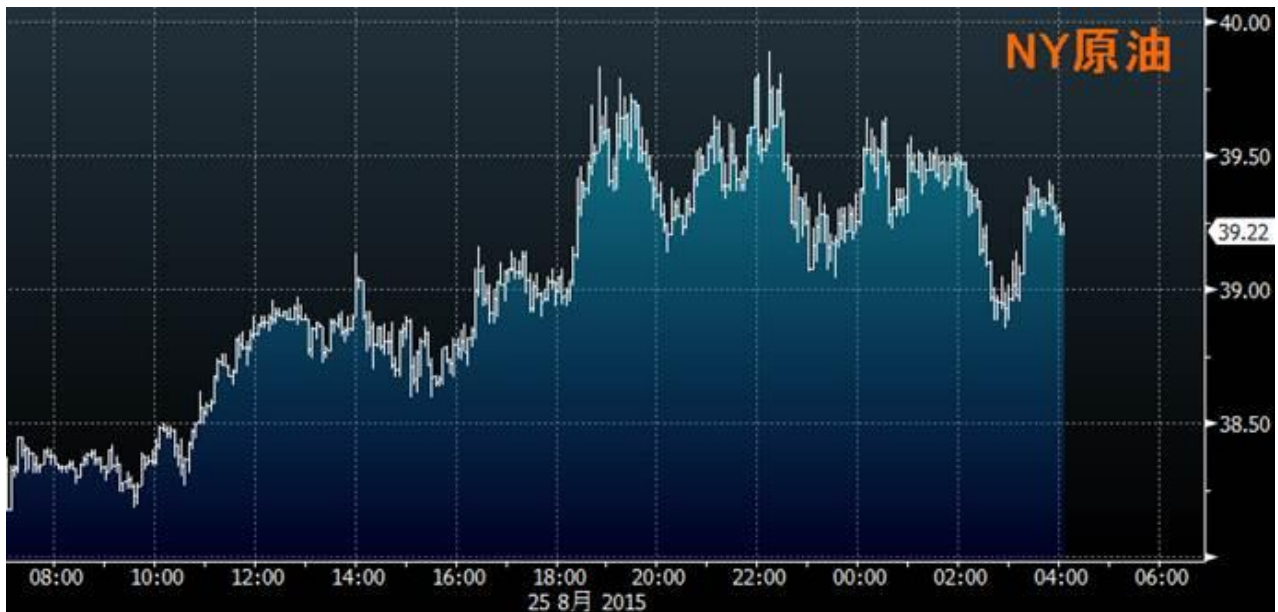
NY 金は、欧米株の大幅反発に加え、個人消費や住宅関連の米経済指標が堅調だったことで、比較的安全な資産とされる金を売る動きが先行した。また、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産としての需要も後退した。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、前日の大幅下落で値頃感が出たとして、買い戻しが優勢となった。中国の緊急追加利下げを受けて欧米株が上昇し、投資家心理が改善したことも相場を支えた。ただ、26日の米石油統計で原油在庫の増加が見込まれることから、引けにかけては伸び悩んだ。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15666.44	-204.91	16312.94	15651.24
S&P500 種	1867.62	-25.59	1948.04	1867.08
ナスダック	4506.49	-19.76	4689.54	4506.10

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要株価が上昇したことを受けて、堅調な展開で始まった。最近の株価急落が一服したことや、中国が緊急の追加金融緩和を発表したことから、同国経済の先行きに対する懸念が後退し、買いが優勢となった。ただ、終盤には主要株価は急落となり、マイナス圏で引けた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 441 ドルまで上昇したものの、その後はやや上げ幅を縮小する動きとなった。ただ、終盤には大きく下落となり、前日比 204 ドル安で引けた。



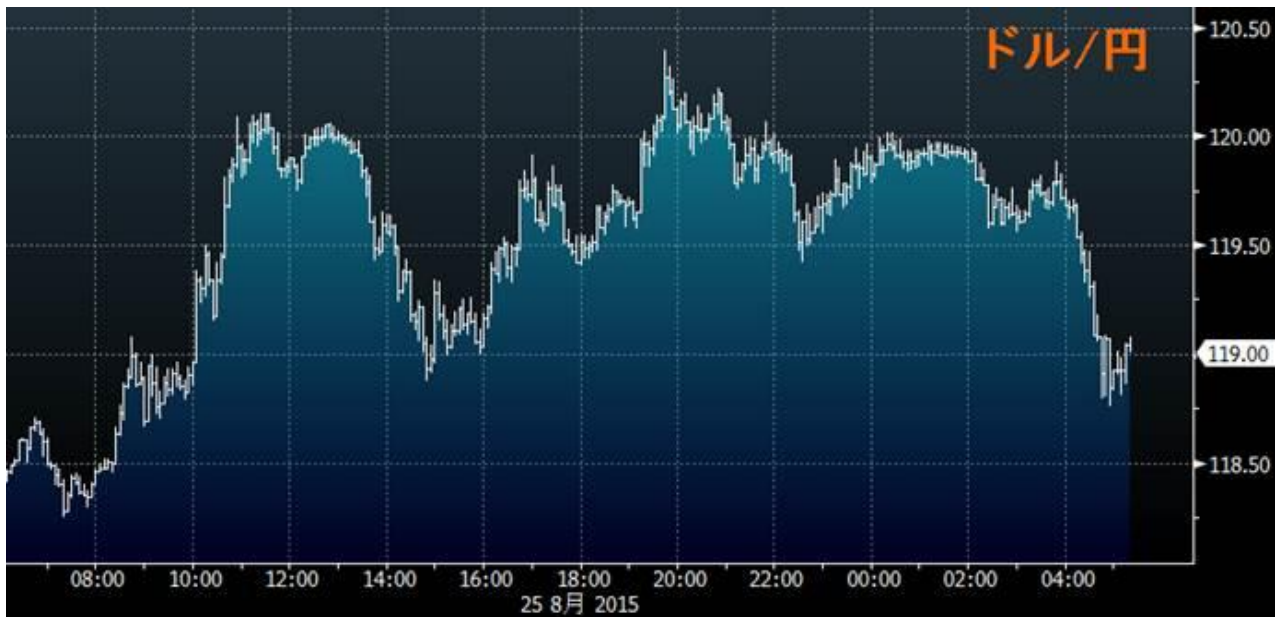
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.75	120.10	118.74
EUR/JPY	136.78	138.13	136.48
GBP/JPY	186.43	189.63	186.37
AUD/JPY	84.68	86.76	84.65
NZD/JPY	76.99	78.52	76.96
EUR/USD	1.1520	1.1526	1.1398
AUD/USD	0.7133	0.7229	0.7123

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場の堅調な流れが一服し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。米経済指標が堅調な結果となったことや、欧米の株価が上昇したものの、アジアや欧州市場が大きく上昇となった反動で、やや軟調な動きとなった。その後、大きく上昇した株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、終盤には一段の下げとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。